

# 幼児運動能力テストと豆つかみテストとの関係について

—新潟市内3園の運動能力テストの結果  
および青陵幼稚園における豆つかみテストの結果をもとに—

高山千代<sup>1)</sup>・福原昌恵<sup>2)</sup>・山崎 健<sup>2)</sup>

The relation of motor skill test and catching bean test in infant

Chiyo Takayama Masae Fukuhara Ken Yamazaki

## 、はじめに

1966年から10年毎に、東京教育大学体育心理学研究室作成の幼児運動能力テストとその改訂版を用いて、幼児の運動能力の全国調査が実施されてきた。とりわけ1986年から1997年にかけて幼児の運動能力が大きく低下したことが報告された。この調査報告を受けて、5年後の2002年に全国調査が実施された。その結果は(表1)に示したが、1986年から1997年に認められた低下傾向は現在に至っていることが確認された。<sup>1)</sup>

本研究者は、2003年に新潟市内の2つの幼稚園と1つの保育園において、この調査と同様の運動能力テストを実施した。家庭への質問紙については検討を加えて調査を実施した。

本研究はこの調査の中で、新潟市内3園の運動能力の現状報告を行なうとともに、運動能力テストの6つの種目と、追調査として青陵幼稚園児を対象に実施した豆つかみテスト(細かい手作業)との相互関係について検討するものである。

## 、方 法

### 1、調査時期および調査対象

1) 調査時期 2003年10月～11月

2) 調査対象

新潟市内の青陵幼稚園、S幼稚園およびN保育園の園児とその保護者に調査を実施した。

青陵幼稚園(男児39・女児43)、S幼稚園(男児60・女児61)、N保育園(男児26・女児35)の有効なサンプルが得られた。

豆つかみテストについては、青陵幼稚園児のみ実施した。

3) 調査内容

・東京教育大学体育心理学研究室作成の幼児運動能力テストとその改訂版 ... 資料1 -

~

1) 新潟青陵大学短期大学部 2) 新潟大学教育人間科学部

表 1 2002年、1997年、1986年の平均・標準偏差

種目	年齢	2002年			1997年			1986年			平均差(t-test) (2002年-1997年)		
		平均	SD	(人数)	平均	SD	(人数)	平均	SD	(人数)	平均	SD	(人数)
25m走 (秒)	4歳前半	8.12	1.21	(617)	8.01	1.05	(827)	7.54	0.91	(537)	0.12 *		
	4歳後半	7.33	0.89	(839)	7.37	0.82	(1,175)	7.19	0.87	(1,051)	-0.04		
	5歳前半	6.93	0.88	(1,094)	7.00	0.81	(1,298)	6.70	0.75	(1,099)	-0.06		
	5歳後半	6.52	0.64	(1,164)	6.60	0.79	(1,392)	6.35	0.59	(1,392)	-0.08 **		
	6歳前半	6.26	0.66	(1,206)	6.29	0.64	(1,419)	6.20	0.57	(1,475)	-0.04		
	6歳後半	6.07	0.54	(321)	6.17	0.59	(347)	—	—	—	-0.09 *		
往復走 (秒)	4歳前半	10.71	2.35	(147)	10.60	1.67	(772)	—	—	—	0.12		
	4歳後半	9.80	1.42	(180)	9.64	1.25	(1,043)	—	—	—	0.16		
	5歳前半	9.45	1.24	(166)	9.13	1.06	(1,135)	—	—	—	0.32 **		
	5歳後半	8.80	1.11	(191)	8.65	0.85	(1,119)	—	—	—	0.15		
	6歳前半	8.32	0.81	(194)	8.37	1.00	(1,250)	—	—	—	-0.06		
	6歳後半	8.58	1.07	(56)	8.25	0.81	(329)	—	—	—	0.33 *		
立ち幅跳び (cm)	4歳前半	75.0	20.1	(718)	77.8	18.6	(843)	85.4	16.4	(550)	-2.75 **		
	4歳後半	88.2	18.6	(987)	89.0	18.6	(1,177)	92.0	17.8	(1,054)	-0.77		
	5歳前半	94.8	18.8	(1,218)	96.3	18.4	(1,294)	101.4	17.7	(1,114)	-1.46		
	5歳後半	105.3	18.4	(1,308)	106.3	18.3	(1,286)	111.0	16.8	(1,402)	-1.02		
	6歳前半	112.4	18.7	(1,350)	113.6	18.2	(1,426)	116.1	17.1	(1,495)	-1.21		
	6歳後半	115.0	19.4	(364)	117.6	17.9	(350)	—	—	—	-2.69		
ソフトボール 投げ (m)	4歳前半	3.3	1.5	(221)	3.2	1.4	(775)	4.0	1.6	(535)	0.04		
	4歳後半	4.2	1.8	(354)	4.0	1.7	(1,112)	4.7	1.9	(1,051)	0.22 *		
	5歳前半	5.0	1.9	(479)	4.9	2.0	(1,214)	5.9	2.3	(1,097)	0.12		
	5歳後半	6.1	2.4	(552)	6.0	2.4	(1,200)	7.0	2.6	(1,398)	0.11		
	6歳前半	7.0	2.8	(828)	7.1	2.7	(1,333)	7.8	2.8	(1,484)	-0.17		
	6歳後半	7.3	3.1	(194)	7.6	2.8	(332)	—	—	—	-0.27		
テニスボール 投げ (m)	4歳前半	4.1	1.7	(501)	4.0	1.8	(782)	—	—	—	0.06		
	4歳後半	5.2	2.1	(618)	4.8	2.1	(1,086)	—	—	—	0.38 **		
	5歳前半	6.1	2.4	(708)	6.0	2.4	(1,179)	—	—	—	0.10		
	5歳後半	7.0	2.7	(730)	7.3	2.9	(1,179)	—	—	—	-0.32 *		
	6歳前半	8.2	3.3	(727)	8.6	3.2	(1,291)	—	—	—	-0.36 *		
	6歳後半	9.2	3.1	(162)	9.4	3.3	(329)	—	—	—	-0.20 *		
両足連続跳 び越し (秒)	4歳前半	8.45	3.42	(701)	9.07	3.96	(791)	7.32	2.67	(537)	-0.62 **		
	4歳後半	7.02	2.39	(942)	7.59	2.93	(1,140)	6.76	2.32	(1,030)	-0.58 **		
	5歳前半	6.24	1.86	(1,176)	6.79	2.33	(1,247)	6.03	1.91	(1,101)	-0.55 **		
	5歳後半	5.68	1.57	(1,285)	6.06	1.80	(1,230)	5.43	1.21	(1,396)	-0.38 **		
	6歳前半	5.34	1.50	(1,307)	5.60	1.50	(1,372)	5.30	1.44	(1,493)	-0.26 **		
	6歳後半	5.16	1.09	(342)	5.48	1.28	(328)	—	—	—	-0.32 **		
体支保持続 時間 (秒)	4歳前半	16.0	16.4	(723)	18.8	17.8	(833)	26.7	22.2	(546)	-2.89 **		
	4歳後半	24.9	22.1	(975)	27.4	24.6	(1,153)	34.2	28.0	(1,049)	-2.50 **		
	5歳前半	32.0	26.5	(1,199)	36.5	28.9	(1,271)	42.0	30.3	(1,100)	-4.55 **		
	5歳後半	45.8	35.7	(1,289)	47.0	34.0	(1,275)	55.0	36.3	(1,359)	-1.18		
	6歳前半	54.4	39.4	(1,335)	55.3	38.4	(1,407)	59.1	37.4	(1,472)	-0.94		
	6歳後半	63.6	44.5	(361)	67.0	44.7	(350)	—	—	—	-3.45		
捕球 (回)	4歳前半	2.7	2.5	(693)	2.5	2.3	(805)	3.0	2.6	(544)	0.26 *		
	4歳後半	4.1	2.8	(940)	3.5	2.6	(1,079)	4.0	2.9	(1,036)	0.55 **		
	5歳前半	5.3	2.8	(1,182)	4.8	2.8	(1,180)	5.2	2.9	(1,099)	0.57 **		
	5歳後半	6.4	2.8	(1,276)	5.9	2.8	(1,183)	6.4	2.8	(1,395)	0.50 **		
	6歳前半	7.6	2.3	(1,311)	6.9	2.5	(1,316)	7.2	2.4	(1,483)	0.63 **		
	6歳後半	8.1	2.2	(347)	7.7	2.2	(335)	—	—	—	0.41 *		

注 1) 2002年のソフトボール投げ、テニスボール投げはm単位に換算した記録とした。注 2) 往復走とテニスボール投げは、1986年には実施されていない。注 3) 2002年と1997年とのt-testの結果、5%水準以下で有意な箇所を赤字で示した。  
\* p<0.05 \*\* p<0.01

(上記、調査用紙のうち家庭調査については質問項目に、親の運動経験と習慣、子どもの食事傾向の項目等を付加した。… 資料2)

- ・豆つかみテスト：皿に入った豆を割り箸で別の皿に移動する作業に要した時間を、測定するものである。… 資料3

### 結果および考察

#### 1、新潟市内3園における園児の運動能力の現状

新潟市内3園の運動能力検査の測定値と評定点の平均と標準偏差を(表2)に示した。3園の運動能力検査実施園児数は(表3)のとおりである。種目・年齢別評定点は個々の測定値について、幼児の運動能力基準表(資料4)に基づいて求めた。

表2 運動能力テストの測定値と評定点の平均および標準偏差

項目	年齢	男児												女児											
		青陵幼稚園				S 幼稚園				N 保育園				青陵幼稚園				S 幼稚園				N 保育園			
		測定値	評定点	測定値	評定点	測定値	評定点																		
25m走	4歳後半	7.0	0.55	3.5	1.05	6.8	0.79	3.8	1.08	7.5	1.91	3.0	1.73	7.2	0.65	3.3	0.89	7.0	0.81	3.7	1.01	7.6	0.98	3.1	1.25
	5歳前半	7.0	0.72	3.1	1.05	6.6	0.77	3.3	1.06	6.8	0.33	3.3	0.52	7.1	0.47	2.9	0.89	7.6	1.07	2.6	0.99	7.3	0.68	2.8	0.91
	5歳後半	6.5	0.52	3.1	0.79	6.8	1.16	3.1	1.25	6.8	0.46	2.7	0.49	7.0	0.46	2.9	0.78	6.4	0.66	3.6	1.10	6.7	0.33	2.8	0.50
(秒)	6歳前半	6.4	0.67	2.7	0.65	6.2	0.42	3.1	0.62	6.4	0.88	3.0	1.22	6.8	0.64	2.3	0.82	6.1	0.51	3.7	0.87	6.3	0.41	3.1	0.90
立ち幅跳び	4歳後半	89.3	22.6	2.8	1.33	99.8	14.3	3.5	1.59	82.0	16.5	2.7	1015	77.4	13.1	3.1	0.84	87.2	16.5	3.5	1.04	76.0	17.0	2.8	0.89
	5歳前半	92.4	13.8	2.7	0.71	99.9	18.1	3.3	1.06	90.3	19.5	2.7	1.03	85.9	16.2	2.9	1.00	84.5	13.7	2.7	0.96	81.8	12.3	2.6	0.62
	5歳後半	100.6	16.3	2.8	0.73	109.9	20.0	3.4	1.18	107.1	19.6	3.0	1.15	87.4	12.0	2.6	0.73	98.0	15.6	3.1	0.90	90.3	7.8	2.8	0.50
(cm)	6歳前半	107.7	12.7	2.6	0.67	117.0	8.04	3.0	0.63	115.3	25.8	3.0	1.41	88.1	11.6	2.0	0.67	109.1	16.9	3.3	0.95	103.1	11.7	3.0	0.82
ソフトボール	4歳後半	4.8	1.9	3.5	1.38	5.0	1.6	3.7	0.79	4.0	1.0	3.3	0.58	2.8	0.8	3.1	0.64	3.3	1.5	3.3	1.01	2.9	0.9	3.1	0.83
投げ	5歳前半	4.6	1.9	3.1	1.36	5.0	2.1	3.1	1.02	4.2	1.0	2.8	0.75	3.3	0.8	3.1	0.57	3.5	1.4	3.3	0.70	3.4	1.0	3.1	0.93
	5歳後半	6.2	1.9	3.4	0.87	5.9	2.3	3.3	0.90	7.0	1.4	3.6	0.53	3.9	0.9	3.2	0.67	4.4	1.1	3.4	0.78	3.5	0.4	3.0	0
(m)	6歳前半	6.5	2.0	2.8	0.87	6.5	1.5	2.7	0.70	8.3	3.0	3.4	1.01	4.2	0.9	2.6	0.52	5.3	1.5	3.3	0.79	4.2	0.8	2.6	0.53
両足連続	4歳後半	7.0	1.17	3.0	0.63	6.6	1.34	3.1	1.04	7.1	0.72	3.0	0	6.4	0.66	3.3	0.46	6.2	1.03	3.5	0.69	7.2	1.47	3.0	1.07
跳び越し	5歳前半	5.7	0.47	3.3	0.50	6.7	2.63	2.9	1.02	8.1	2.95	2.2	0.75	6.8	1.81	2.9	0.93	8.0	1.90	2.5	0.74	7.2	1.52	2.7	0.87
	5歳後半	6.1	0.79	2.8	0.69	6.9	2.17	2.7	0.90	5.2	0.26	3.3	0.49	6.5	1.13	2.7	0.50	6.4	1.37	2.9	1.00	6.3	0.90	3.0	1.15
(秒)	6歳前半	6.1	1.20	2.6	0.81	6.0	1.33	2.5	0.63	5.5	0.74	2.9	0.78	6.2	1.04	2.2	0.92	5.7	0.76	2.8	0.75	5.8	0.81	2.9	0.69
体支持	4歳後半	16.0	11.4	2.7	0.82	20.5	17.9	2.5	0.93	11.0	8.19	2.0	1.00	7.6	4.47	1.5	0.76	36.5	34.2	3.1	1.38	20.1	13.0	2.8	0.89
持続時間	5歳前半	14.6	10.3	2.0	0.87	20.9	13.7	2.4	0.81	18.2	11.9	2.3	0.82	19.5	18.0	2.3	1.00	17.9	17.2	2.1	0.99	36.8	41.9	2.9	1.18
	5歳後半	21.7	10.9	2.1	0.76	27.5	23.8	2.4	1.06	38.0	13.2	2.9	0.69	29.3	35.6	2.4	1.42	38.3	28.0	2.9	1.02	40.3	14.4	3.3	0.50
(秒)	6歳前半	37.2	16.3	2.6	0.69	45.9	28.0	2.8	0.77	64.6	21.3	3.3	0.50	31.6	22.3	2.4	1.08	68.5	38.4	3.3	0.95	51.4	21.9	3.1	0.69
捕球	4歳後半	4.3	2.4	3.3	0.82	7.1	2.8	3.9	0.99	1.3	1.2	2.3	1.15	4.9	1.4	3.5	0.53	5.6	2.5	3.9	1.04	4.4	3.0	3.3	1.49
	5歳前半	6.6	2.2	3.6	0.53	6.7	2.8	3.4	1.20	4.8	2.0	3.0	0.89	5.8	2.2	3.5	1.03	6.1	2.8	3.7	0.90	5.2	2.1	3.3	0.70
	5歳後半	7.2	2.1	3.5	0.88	7.1	2.6	3.7	0.90	7.1	1.1	3.6	0.53	5.9	1.2	3.3	0.50	7.2	2.8	3.6	1.15	4.3	2.9	3.0	0.82
(回)	6歳前半	7.8	2.8	3.5	1.04	9.2	1.1	3.8	0.40	8.7	1.9	3.6	0.73	6.5	2.8	3.1	1.10	8.4	2.1	4.1	1.00	7.6	1.8	3.1	0.90

表3 運動能力検査実施園児数

年齢	青陵幼稚園		S 幼稚園		N 保育園	
	男児数	女児数	男児数	女児数	男児数	女児数
4歳後半	6	8	12	11	4	8
5歳前半	9	16	16	15	6	16
5歳後半	13	9	15	19	7	4
6歳前半	11	10	17	16	9	7
合計	39	43	60	61	26	35

新潟市内の3つの園について、種目・年齢別評定点において平均値3より高い値・低い値が散見される。サンプル数が少ないためばらつきが大きくなっていることが考えられる。しかし、体支持持続時間については3園いずれも低く、捕球については3園ともに高い評定点を示している。体支持持続時間の低い評定点の原因については明らかではない。しかしこのテストについては特に、身体的な筋持久力の他に、精神的

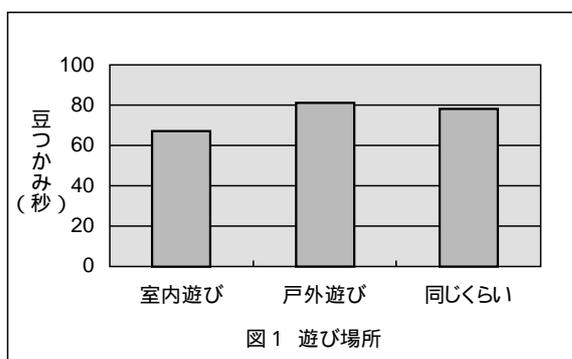
な力（頑張る意欲、あきらめない気持ち）が関係してくることが考えられる。園や家庭での長い時間頑張るような経験・体験の場を設定することも必要と感じられる。

捕球の高い評定点については、家庭における遊具の調査において、サッカーボールまたはその他ボールの所持の質問に対して、ボールが家庭にないと回答したのは全体で6例だけであったことや、いずれの園においてもボール遊びが可能な環境であることなど、新潟市内の3園においては、子どもたちがボールで遊ぶ経験が多いことが推測される。

## 2、運動能力検査と豆つかみテストの相互関係

運動能力テストの各種目の結果および総合点と、豆つかみテストの結果には相互関係は見られなかった。

保護者への質問紙（幼児の運動遊び調査）の中で、室内遊びと戸外遊びとどちらが多いかという質問に対する回答について、室内遊びが多い方が豆つかみテストの結果がよい傾向があり、運動能力テストと逆の傾向が認められた。（図1）



このことは、戸外遊びでは大きな筋肉を使う遊びが多く、室内遊びでは小さな筋肉を使う遊びが多いことが影響したと考えられる。その他の質問との相関は認められなかった。今回の結果から、運動能力テストの各種目（大筋的<sup>2)</sup>技能）と豆つかみテスト（小筋的<sup>2)</sup>技能）の間には相互関係は認められなかった。すなわち豆つかみテストは運動能力と異なる尺度と考えられる。しかし今回の研究ではサンプル数が少ないため、今後サンプル数を大きくして検証する必要があると思われる。

## まとめ及び今後の課題

1966年から2002年の幼児運動能力の全国調査<sup>1)</sup>で子どもたちの体力の低下は明らかになっている。また、鳥居<sup>3)</sup>によると学校管理下での災害に関する統計報告により、1970年から2000年までの30年間で負傷、骨折ともに、明らかに発生率が増加していることが示されており、このことは体力低下との何らかの因果関係、瞬発力や柔軟性など負傷回避に必要な能力の低下が生じている可能性があるのではないかと述べられている。健康で逞しい子どもたちの育成は、家庭や保育現場において重要な使命である。子どもは本来活動的で自発的に運動遊びを行なうものと考えられてきた。しかし、現在の子どもの育つ環境は、家庭環境・自然環境・生活環境ともに、文明・経済の成長に伴ない急激に変化してきている。稚丸<sup>4)</sup>によると、昔（1950年代）の子どもたちが幼児期から学童期に教師や保育者に教えられなくても環境に応じて色々な遊びを展開できたのは、異年齢集団の中でガキ大将から見真似で学ぶプロセスがあったからで、今の子どもたちは遊び手段が少なく貧弱で、豊かな遊びへの発展が期待できないと述べられている。保育の場において、質の高い遊びの楽しさを体験するためには保育者による運動遊びの指導の重要性が指摘されている。また幼児期においては、保護者や親の存在が大きく自己評価<sup>5)</sup>をするための重要な基準になっていると言われている。自己の価値を評価する場合、幼児期や児童

前期では、親や教師などの大人が大きな影響を与えてしまうことになる。幼少期では、自己評価に関しては周囲の大人の影響が強いため、子どもたちが会える教師や運動指導者の態度や発言が、運動の好き嫌いに強く影響することになる。また、幼少期の子どもたちが運動好きに育つには、できる楽しさを経験することよりも運動すること自体それが楽しいという経験を十分に積むことが大切である。<sup>6)</sup> 楽しい経験を積ませるためには、回りの大人が、運動に対する正しい価値観を持ち、子どもたちが運動遊びを十分に楽しむことができる環境作りへの配慮をすることがたいへん重要になる。子どもたちが多くの生活時間を送っている保育現場においては、特にこのような見地にたって将来につながる運動好きの子どもたちの育成に対する配慮が必要と考えられる。

運動能力テストと豆つかみテストとの関係性は認められなかった。一方、手と脳の発達は密接な関係にあり、「手はつき出た脳ずい」と表現されるように指や手の中枢は大脳皮質の運動野・皮膚知覚野ともに約1/3の面積を占めている。(図2)<sup>7)</sup> 言葉の発達が極端におくれている自閉児では手の働きの発達がたいへん困難であったり、ダウン氏症候群の子どもの手指がやや短い特徴があることや、親指の発達と言葉の発達に関係があるといわれ、<sup>8)</sup> 豆つかみテストのように細かい手作業の発達状況については、言葉の発達などの知的学習との関係性が深いと推測される。今後さらに検討の余地がある。

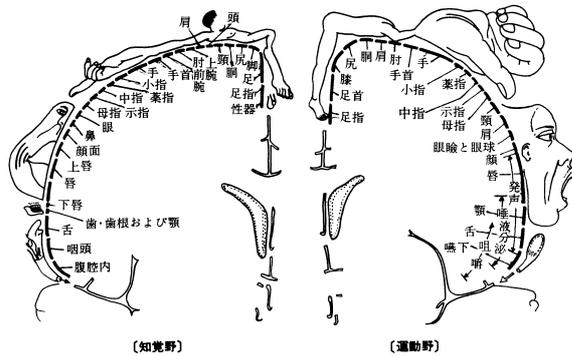


図2 運動野と皮膚知覚野の機能局在<sup>7)</sup>

謝辞

本研究の調査のために、市内の3つの園関係者および園児とその保護者の皆様にはご多忙中にも関わらず多大なご協力いただきました。心から感謝申し上げます。

## &lt;引用・参考文献&gt;

- 1) 杉原 隆、森 司朗、吉田伊津美「幼児の運動能力発達の年次推移と運動能力発達に関する環境要因の構造的分析」平成14～15年度文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書
- 2) 末利 博、鷹野健次、柏原健三「スポーツの心理学」福村出版、1994.
- 3) 鳥居 俊「子どもの骨折は増加しているか」子どもと発育発達Vol.2 No.3、2004、pp.202 - 205
- 4) 穉丸武臣「幼児の運動遊び」子どもと発育発達Vol.1 No.3、2003、pp.161 - 164
- 5) 桜井茂男「学習意欲の心理学」誠信書房、1997.
- 6) 森 司朗「幼少期における運動の好き嫌い」体育の科学Vol.53 No.12、2003、pp.910 - 914
- 7) 木村邦彦「人体解剖学」大修館書店、1970.
- 8) 香原志勢「手のうごきと脳のはたらき」築地書館、1995.
- 9) 吉田伊津美、杉原 隆、森 司朗「幼児の運動能力と家庭環境の関係」日本スポーツ心理学会第30回記念大会研究発表抄録集2003、pp.120 - 121
- 10) 森 司朗、杉原 隆、吉田伊津美「幼児の運動能力と園環境の関係」日本スポーツ心理学会第30回記念大会研究発表抄録集2003、pp.122 - 123
- 11) 野中壽子「幼児の手指の動作の発達」子どもと発育発達Vol.1 No.5、2003、pp.302 - 305

[付記] 福原、山崎とともに共同研究として調査したデータをもとに、高山が執筆した。

(資料 1-①)

# 運動能力テスト個人記録票

園名: \_\_\_\_\_ クラス名: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_ 1. 男 2. 女

年齢	月	日	身長	体重
歳	ケ	日	cm	kg

運動能力結果 (桁に注意し、右語でご記入ください。実施していない種目は四角を斜線で埋めてください)

25m走	秒	立ち回り	秒	ボール投げ (実線したほうがよい)	1. ソフト 2. テニス
両足跳び	秒	体支持続時間	秒	捕球	は球走

このお子様について、以下の質問の該当する項目の番号を右側の枠内に記入して下さい。

- Q1. 運動能力テストを実施したとき何か問題がありましたか..... 1. なし 2. あり
1. 2. あり 1と2両方の場合は、その内容を具体的に記入して下さい
- Q2. 園での過ごし方として、最もよく当てはまるのは次のどれですか.....
1. いつも坐ったり寝転んだりして静かに何かをしている
  2. 少し動き回ることもあるが寝て何かをすることが多い
  3. 走ったり跳んだり投げたりなど活発に動き回ることが多い
  4. いつも走ったり跳んだり投げたりなど非常に活発に動き回っている
- Q3. 自由遊びのとき、室内遊びと戸外遊びのどちらが多いですか.....
1. 室内遊び
  2. 戸外遊び
  3. どちらも同じくらい
- Q4. 自由遊びのとき、身体を活発に動かす運動遊びをよくするほうですか.....
1. 非常によくする
  2. かなりよくする
  3. ふつう
  4. あまりしない
  5. ほとんどしない
- Q5. 一番好んで行う活動は次のどれですか.....
1. 折り紙・粘土・工作などの製作活動
  2. 歌や楽器や絵かきなどの表現活動
  3. 絵本や数遊びなどの知的活動
  4. ままごとや人形遊びなどの静的なごっこ遊び
  5. 戦いごっこや鬼ごっこのような動的なごっこ遊び
  6. ボール遊びや投球やダンスなどの運動活動
  7. 水遊びや砂遊びや虫取りなどの自然を対象とした遊び
  8. その他の活動
- Q6. いつもよく一緒に遊ぶ友達は何人くらいですか.....
1. 一人で遊ぶことが多い
  2. 2~3人
  3. 3~4人
  4. 5人以上

(資料 1-②)

# クラス担任調査票

以下の質問について、該当する項目の番号を右側の枠内に記入してください。

- Q1. 園名とあなたの担当クラス ( ) にクラス名を記入してください。 園名: \_\_\_\_\_
1. 3歳児( )組 2. 4歳児( )組 3. 5歳児( )組
- Q2. あなたの性別は 1. 男性 2. 女性.....
- Q3. あなたの保育経験年数は何年ですか.....
1. 1年目
  2. 2~3年
  3. 4~5年
  4. 6~10年
  5. 10年以上
- Q4. 通常の保育の場合、1週間を通してみたく、クラスの子どもたちが従事する活動のなかで最も多いものは次のうちどれですか.....
1. 文字や数などの知的活動
  2. 歌や楽器や絵かきなどの表現活動
  3. ボール遊びや体操などの運動活動
  4. 折り紙や粘土や工作などの製作活動
  5. その他の活動
- Q5. 通常の保育の場合、子どもが自由に遊べる時間は1日のうちどのくらいありますか.....
1. ほとんどない
  2. 30分以内
  3. 30分~1時間くらい
  4. 1時間~1時間半くらい
  5. 1時間半~2時間くらい
  6. 2時間以上
- Q6. 自由に遊べる時間のとき、あなたとクラスの子どもたちは活発に身体を動かして遊ぶことが多いですか、あまの身体を動かさず静かに遊ぶことが多いですか.....
1. 戸外で活発に運動することが多い
  2. 室内で静かに遊ぶことが多い
  3. どちらともいえない
- Q7. 保育をする上であなたが一番懸念している活動は次のどれですか.....
1. 文字や数などの知的活動
  2. 歌や楽器や絵かきなどの表現活動
  3. ボール遊びや体操などの運動活動
  4. 折り紙や粘土や工作などの製作活動
  5. その他の活動
- Q8. 通常の保育の場合、あなたは部屋のなかで保育することが多いですか、戸外で保育することが多いですか.....
1. 部屋の中が多い
  2. 戸外が多い
  3. どちらともいえない
- Q9. 小学校から現在まで、運動部等に所属し、体育の授業以外で運動を継続的に行った経験がありますか.....
1. ない
  2. 1年以内
  3. 1~2年
  4. 2~3年
  5. 3年以上
- Q10. あなたは運動が得意なほうですか.....
1. 非常に得意
  2. 少し得意なほう
  3. どちらでもない
  4. 少し苦手
  5. 大の苦手

2002

(資料1-③)

□

# 運動能力テスト実施園調査票

園名: □

所在地: □

以下の質問について、該当する項目の番号を右側の枠内に記入してください。

Q1. 園の所在地は次のうちどれですか。 □

1. 人口6万未満の市・町・村 2. 人口6~20万未満の市  
3. 人口20~100万未満の市 4. 人口100万以上の市

Q2. 園の周りは、次の地域のうちどれですか。 □

1. 農山村・漁村地域 2. 商業地域 3. 工業地域  
4. 住宅地域(団地を除く) 5. 団地 6. その他

Q3. 施設の広さ(右詰で記入)

園庭の広さ	m	□
園舎の広さ(遊戯室も含む)	m	□
遊戯室の広さ(ない場合は0)	m	□

Q4. 職員構成(右詰で記入)

常勤	名	このうち 男性	名
非常勤	名	このうち 男性	名

Q5. クラス数・人数(右詰で記入)

3歳児	クラス	名
4歳児	クラス	名
5歳児	クラス	名
合計	クラス	名

Q6. 貴園の保育形態は次のどれですか(3歳児・4歳児・5歳児について) □

1. 一斉保育中心 2. 自由遊び保育中心  
3. 一斉保育と自由遊び保育がほぼ半々

Q7. 貴園で最も力を入れている保育活動は次のどれですか。 □

1. 文字や数などの知的活動 2. 歌や楽器やお遊戯会などの表現活動  
3. ボール遊びや体操などの運動活動 4. 折り紙・粘土・粘土・工作などの製作活動  
5. その他の活動

Q8. 貴園にある施設・用具に○印を記入してください

1 <sup>1</sup> ブランコ	2 <sup>2</sup> 鉄棒	3 <sup>3</sup> 滑り台	4 <sup>4</sup> ジャングジム
5 <sup>5</sup> 雲梯	6 <sup>6</sup> シーソー	7 <sup>7</sup> 三輪車	8 <sup>8</sup> 自転車
9 <sup>9</sup> 一輪車	10 <sup>10</sup> 砂場	11 <sup>11</sup> 築山	12 <sup>12</sup> 登り棒
13 <sup>13</sup> アスレチック	14 <sup>14</sup> ボール組立玩具	15 <sup>15</sup> 鉄心箱	16 <sup>16</sup> 巧芸台
17 <sup>17</sup> 大型積み木	18 <sup>18</sup> マット	19 <sup>19</sup> サッカーボール	20 <sup>20</sup> トッポボール
21 <sup>21</sup> その他のボール	22 <sup>22</sup> 縄跳び	23 <sup>23</sup> 輪投げ	24 <sup>24</sup> タイヤ
25 <sup>25</sup> フープ	26 <sup>26</sup> その他の運動器具	→具体的に: □	

Q9. 保育の一環として園で行っている運動があれば○印をつけ、その頻度を記入してください

1 <sup>1</sup> マラソン	→週に	□	日	2 <sup>2</sup> サッカー	→週に	□	日
3 <sup>3</sup> 水泳	→週に	□	日	4 <sup>4</sup> 体操	→週に	□	日
5 <sup>5</sup> 散歩	→週に	□	日	6 <sup>6</sup> 野外活動	→週に	□	日
7 <sup>7</sup> 縄跳び	→週に	□	日	8 <sup>8</sup> ト・跳び箱・鉄棒	→週に	□	日
9 <sup>9</sup> その他	→具体的に:	□		→週に	□	日	

Q10. 今園以外で、体力・運動能力テストを行なったことがありますか。 □

1. 毎月行なっている 2. 以前行なったことがある 3. 行なっていない

Q11. 保育時間に運動指導を行っていますか。 □

1. いる 2. いない

Q12. 保育時間外に運動関係の教室を行っていますか。 □

1. はい 2. いいえ

Q13. 通園手段は次のどれですか。 □

1. 通園バスのみ 2. 通園バスと徒歩 3. 徒歩のみ  
4. 自由(電車・バス・車・自転車など)

\*運動能力テストを実施した感想・実施上の問題点等がありましたら、お書きください。

□



食べ物は(1. 歯ごたえのある物 2. 安全な物 3. 新鮮な物 4. 旬の物)を選ぶ  
 その他心がけていることは( )

Q16. ご家族の方は、日ごろお子様につきあって室内遊びをどのくらいしますか ○印で囲む  
 絵本を(1. かなりよく 2. よく 3. 時々 4. たまに 5. ごくたまに)読む  
 会話を(1. かなりよく 2. よく 3. 時々 4. たまに 5. ごくたまに)する  
 描画等(1. かなりよく 2. よく 3. 時々 4. たまに 5. ごくたまに)する  
 ゲームを(1. かなりよく 2. よく 3. 時々 4. たまに 5. ごくたまに)する  
 うたを(1. かなりよく 2. よく 3. 時々 4. たまに 5. ごくたまに)歌う  
 その他  
 ( )を(1. かなりよく 2. よく 3. 時々 4. たまに 5. ごくたまに)する

Q17. お子様は習い事をしていますか。それぞれ次の1~5の頻度を番号でお答えください。  
 (1. していない 2. 週1回 3. 週2回 4. 週3回 5. 週4回以上)

- ①水泳や体操などの運動・スポーツ…  ②ピアノなど音楽などの習い事…
- ③習字や絵画などの習い事…  ④英語や算数などの習い事…

Q18. お子様は通信教育を受けていますか。受けている場合は毎日のどのくらいの時間をかけていますか

- (1. 受けていない 2. 30分以内 3. 30分~1時間くらい
- 4. 1時間~1時間半くらい 5. 1時間半~2時間くらい 6. 2時間以上)

Q19. お子様が大きくなったら何にさせたいですか  
 (1. スポーツ選手 2. 音楽家 3. 親の仕事 4. その他( ) 5. 特にない)

Q20. お子様はえんぴつを持って遊んだりしますか ○印で囲んでください  
 (1. 文字を書くのが好き 2. 文字様のものを書く 3. 線を引く

- 4. 文様や迷路様のものを書く 5. 絵を描く 6. すぐに芯を折ってしまう 7. 喜ばない)

Q21. お子様はおしゃべりをよくしますか ○印で囲んでください  
 (1. なんでもよくわかる 2. わかるように話そうとする 3. 時々わからないことがある

- 4. うまく伝わらなくても気にせず話す 5. あまり話したがらない)

質問は以上です。記入漏れがないかご確認ください。ご協力有り難うございました。

⑤自転車…  ②三輪車…  ③野球用具…  ④縄跳び縄…   
 ⑤人形…  ⑥描画用具…  ⑦おもちゃや電話…  ⑧ままごと道具…   
 ⑨サッカーボール…  ⑩その他のボール…  ⑪凧…  ⑫ごま…   
 ⑬ビニールボール…  ⑭スキー類…  ⑮ビー玉…  ⑯ラケット類…   
 ⑰色紙…  ⑱かるた・トランプ…  ⑲カラオケセット…  ⑳絵本…   
 絵本は(1. 10冊以下 2. 11~20冊 3. それ以上) …

Q12. お子様がいっしょによく一緒に遊ぶ友だちは何人くらいですか…   
 (1. 一人で遊ぶことが多い 2. 2~3人 3. 3~4人 4. 5人以上)

Q13. ご家族の方は、日ごろお子様といっしょに身体を発売に動かす運動遊びをしますか  
 (1. とてもよくする 2. かなりよくする 3. 少しする 4. あまりしない)

Q14. お子様の好きな食べ物はどうなものでしょうか○印を記入してください

- ①オムライス  ②酢の物  ③カレー  ④おでん  ⑤ハンバーグ
  - ⑥豆腐類  ⑦焼き肉  ⑧漬け物  ⑨クリームシチュー  ⑩煮魚
  - ⑪やきそば  ⑫揚げ物  ⑬餃子  ⑭みそ汁  ⑮アイスクリーム
  - ⑯野菜炒め  ⑰ラーメン  ⑱焼き魚  ⑲プリン・ケーキ  ⑳煮野菜
- その他 ( )

Q15. お子様の食習慣に関して ○印で囲んでください(複数でもよい)

- 食事は(1. 大概朝昼晩の3食 2. 朝食を食べないことがある 3. 間食をよくする)
- 食事は(1. ごくたまに 2. 時々 3. よく 4. いつも)子どもだけで食べる
- 朝食は(1. 主に手作り 2. 手作りとし販品半々 3. 主に市販品 4. 外食が多い)
- 夕食は(1. 主に手作り 2. 手作りとし販品半々 3. 主に市販品 4. 外食が多い)
- 休日は(1. 主に手作り 2. 手作りとし販品半々 3. 主に市販品 4. 外食が多い)

(資料3)

## 豆つかみテスト 実施方法

### 1、テストの概要

左側の皿から右側の皿に豆を箸でつかんで10個移動するのに、どれくらいの時間が掛かるかを計測する。

- 2、準備する道具
- |          |              |          |
|----------|--------------|----------|
| 豆15個     | 皿2枚(少し深めの紙皿) | 割り箸      |
| ストップウォッチ | 両面テープ        | 定規(メジャー) |
| 記録用紙     | ボールペン        |          |

### 3、机の上に紙皿を2枚、両面テープで固定する。

皿と皿の間は10cm、机の手前から10cmとする。

左側の皿に豆を15個入れておく。割り箸を用意する。

### 4、指示する言葉

「これから、豆つかみテストを行ないます。

左のお皿に入っている豆を箸でつまんで、右のお皿に10個移動するのに、どれくらい早くできるかを試してみましよう。

2回行なってみて、早くできた方の時間を記録します。

もしお皿の外へ豆を落としたり、それはそのままにして次の豆を移動して下さい。

左手(左利きの場合は右手)は膝の上に置いておきましょう。」

「じゃ、練習に3個移動してみましよう」(豆を戻して)

「始めますよ。箸を持って」(持ったことを確認して)「用意ドン」

10個移動できたら時計を止めると同時に「はい、終わり」

\*状況に合わせて「がんばってね」「上手にできたね」などの言葉を掛ける。

\*事前に担任に、左利きの子供がいるかどうか確認しておく。

\*2回のテストの良い方を記録する。0.01秒台は切捨て、0.1秒台まで記録する。

1998/11/2

# 幼児の運動能力基準表 (1997年版)

(資料4)

種目	評定 点	男						女					
		4歳前半	4歳後半	5歳前半	5歳後半	6歳前半	6歳後半	4歳前半	4歳後半	5歳前半	5歳後半	6歳前半	6歳後半
25m走 (秒)	5	6.7	6.3	6.0	5.7	5.4	5.4	6.9	6.5	6.1	5.8	5.6	5.5
	4	6.8	6.4	6.1	5.8	5.5	5.8	7.0	7.0	6.7	6.3	6.1	6.0
	3	7.5	7.0	6.6	6.2	6.0	6.3	7.8	7.9	7.4	6.9	6.6	6.5
	2	8.3	7.7	7.3	6.9	6.6	7.0	8.7	8.8	8.4	7.9	7.3	7.2
	1	9.7	8.7	8.3	7.8	7.3	7.1	10.1	8.9	8.5	8.0	7.4	7.3
立ち幅 とび (cm)	5	105	116	121	133	144	144	95	105	112	123	129	133
	4	88	99	107	116	128	143	80	94	96	106	112	128
	3	70	87	90	99	110	127	63	79	80	88	95	111
	2	49	69	67	80	89	109	43	62	61	70	78	94
	1	0	48	0	0	0	88	0	42	0	0	0	77
ソフト ボール 投げ (m)	5	6	7	8	10	13	13	4	5	6	7	8	9
	4	4	5	6	7	11	12	3	4	5	6	7	8
	3	3	3	4	5	6	9	2	3	3	4	5	6
	2	2	2	3	4	5	4	1	2	2	3	3	4
	1	0	1	0	2	3	0	0	0	0	0	0	2
両足連 続とび こし (秒)	5	5.4	4.8	4.6	4.3	4.0	4.0	5.5	5.0	4.7	4.4	4.2	4.2
	4	5.5	4.9	4.7	4.4	4.1	4.7	5.6	5.1	4.8	4.5	4.3	4.8
	3	6.7	6.0	5.5	5.1	4.8	5.5	7.1	6.0	5.7	5.3	5.0	5.6
	2	9.5	8.1	7.0	6.3	5.6	7.6	10.2	8.0	7.1	6.3	6.0	7.2
	1	16.5	12.7	11.0	9.1	7.7	7.7	14.7	12.1	10.6	8.9	7.8	7.3
体支持 持続時 間 (秒)	5	47	65	85	108	161	180	50	69	86	111	127	180
	4	22	46	44	54	79	160	23	49	44	56	65	126
	3	9	21	20	27	39	78	9	22	19	28	33	64
	2	3	8	4	12	17	38	3	8	7	10	16	32
	1	0	2	0	0	0	16	0	2	0	0	0	15
捕球 (回)	5	7	10	10	10	10	10	7	10	9	10	10	10
	4	4	6	7	8	9	10	3	6	6	8	9	9
	3	1	3	4	5	7	9	1	2	3	4	6	8
	2	0	1	1	2	4	5	0	1	1	2	3	5
	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1